

USPTO、連邦政府職場 No.1 に選ばれる

2013年12月23日

JETRO NY 諸岡

米国特許商標庁（USPTO）は、非営利団体Partnership for Public Service（PPS）が毎年行っているBest Places to Work in the Federal Governmentの調査において、300の連邦政府省庁に付属している機関の中で職場1位¹に選ばれた²。

当該調査は、連邦政府職員を対象に毎年実施されているアンケート調査のうち、「この職場を勧めるか」「仕事への満足度」「組織への満足度」といった項目の回答から算出される。

USPTOは毎年順位を上げてきており³、昨年は5位だった。フォカリノ特許局長⁴はプレスリリース⁵において「職員は予算の強制削減などの困難に立ち向かい、改正特許法（関連業務）を実行し特許システムを改善した。これらの困難に職員が立ち向かったにも関わらず、こうした結果が得られたことは賞賛に値する」旨述べている。

（了）

¹ [Best Places to Work in the Federal Government](#)（ランキング）。なお、ランキングは、大規模連邦政府機関（職員数15000人以上）、中規模連邦政府機関（1000人～14999人）、小規模連邦政府機関（100人～999人）、省庁に付属している機関の4つのカテゴリーに分かれている。

² [結果](#)の詳細（PDF）

³ 2009年：105位、2010年：56位、2011年：19位、2012年：5位

⁴ 現在、長官及び副長官不在のため、特許局長がUSPTOのすべての業務を執り行う。

⁵ [プレスリリース](#)